

令和6年8月22日（木）

群馬県知事 & 高崎市長

合同記者会見



堤ヶ岡飛行場跡地活用プロジェクト 基本構想策定



シリコンバレーを超えるような
群馬ユニークな街へ



基本構想策定の経過

R5.3

群馬県知事と高崎市長の合同記者会見

R5.5～

県・市合同プロジェクトチームでの検討

R5.9

副知事・副市長を中心とする共同戦略会議

R5.11

知事と市長による米国視察

まちづくりの3つのコンセプト

1 先端情報技術を有する企業等が集積する地域

2 DXを活用した地域

3 再エネを活用したサステナブルな地域

将来的には「**公・民・学**」の連携により、
新たなサービスや付加価値を創出

まちづくりを展開する「8つのビジョン」



まちづくりの6つの方針

(1) 企業誘致の方針

(2) まちなみ形成の方針

(3) 教育・研究施設整備の方針

(4) 住宅環境整備の方針

(5) 交通基盤整備の方針

(6) 再生可能エネルギー活用の方針

(1) 企業誘致の方針



8つのビジョンを
実現できる

最先端企業を誘致

(2) まちなみ形成の方針

デザインのあり方を工夫した
居心地の良い空間



出典：NPO法人大丸有エリアマネジメント協会

(3) 教育・研究施設整備の方針

デジタルやクリエイティブの
人材育成の一大拠点



※イメージ画像は、まちづくりのビジョンや方針を踏まえて群馬県が生成AIにより作成

(4) 住宅環境整備の方針

ワークライフバランスのとれた
職住近接のまち



(5) 交通基盤整備の方針

モビリティハブを中心とした
快適な移動環境



(6) 再生可能エネルギー活用の方針

再生可能エネルギーをまち全体で融通

スマートコミュニティシステムの構築



開発に伴い農地が **約63ha減少**

- ① R3～R5の3年間 —— 約34.1haの農地を確保
- ② 荒廃農地の解消 —— 約65haの農地を確保

減少面積を上回る

約 **100**haの農地を計画的に確保

民間開発区域と一体となった将来のまちづくり

- ①高崎市事業区域：約66ha
- ②民間開発区域：約27ha



2つの区域が
共通理念を持ちながら
まちづくりを展開

②に進出する民間事業者と
協定書を締結予定

今後のスケジュール

R6年度～

基本構想を基に**事業化を推進**

	R6	R7	R8	R9	R10～
基本構想を踏まえた計画作成	事業手法検討 + 造成基本計画策定				
高崎市都市計画マスタープラン	プラン策定				
国等との調整	都市計画関係の調整		都市計画決定		
		環境影響評価			
用地買収造成工事					用地買収造成工事

群馬県の取組【企業誘致】

米国訪問



カナダ商工会議所



日仏ビジネスサミット



高崎市と連携したトップセールスで企業を誘致

群馬県の取組【交通基盤整備】

GunMaaSを活用した快適な環境づくり

令和7年度

令和8年度～

高崎市GunMaaS導入

シームレスな交通網を整備
世界トップレベルのスマートシティへ

